



3学期始まる

1月15日(月)本校講堂において、3学期始業式が行われました。

冬休みの地域清掃以来、21日ぶりに全校生徒が顔を合わせました。各学年代表発表者の「冬休みの思い出と3学期の抱負」は次のとおりです。

■赤石聖空(1年)

私の冬休みの反省は、計画どおりに宿題を進めることができなかつたことです。友達と遊んだり楽しいことを先にしてしまい、宿題を後回しにしたので、次からはメリハリをつけて宿題をして、後から困らないようにしたいと思います。

3学期の抱負は、もうすぐ後輩も入ってきて先輩になるので、私が入学してから学んだことを、今度は自分が教えることができるようにがんばります。

■高村 銀(2年)

冬休みに良かったと思う点が二つあります。一つ目は、宿題を順調に終わることがで

第二中学校学校だより

1月31日
(水曜日)

2023(令和5)年度版

編集 発行
六ヶ所村立第二中学校
発行責任者 天間朋昭
〒039-3215
青森県上北郡六ヶ所村
大字倉内字湯沢112-1
電話 0175-75-3141

えながら全力で楽しみます。

■木村華恋(3年)

私は自主的に勉強する時間を増やし、自分にとって、ためになる有意義な冬休みを過ごすことができました。冬休みに面接と作文の試験があったため、計画的に宿題を終わらせた。試験本番では、高校に對しての自分の思いを伝えることができたのでよかったです。また、冬休みの思い出については、家族と東京に行ったり、友達と遊んだりして、楽しい冬休みを過ごすことができました。東京では、ディズニールンドや原宿に行き、食べ物やきれいな景色を堪能し、楽しい思い出をたくさん作ることができました。私の3学期の抱負は、おもに勉強に力を入れることです。これまではサッカーとの両立をがんばってきたのですが、卒業までの期間、勉強に集中できるようにがんばりたいです。高校でもサッカーを続けるので勉強とともにがんばり、高校で必要な力を付けたいです。卒業までの残りの短い期間、受験もありますが、3年生みんな楽しんで思い出を作っていきたいです。

校長式辞 (概要)

今日、このようにみなさんの顔を見ることができて大変安心しました。

今年、元日の能登地方の大地震、そして翌日の羽田での事故など、痛ましい事故の報道がありました。能登地方では、多くの方が犠牲になり、現在もライフラインが確保できず苦しい生活をしている方々がいます。昨日は、大学入試のテストが全国的に行われましたが、厳しい環境の中で、受験に臨んでいる能登地方の受験生の様子がニュースに流れていました。みなさんの中にも、このような状況を、自分と重ね合わせ、心を痛めている人もいるかと思えます。このような中、消防、警察、自衛隊、医療関係者をはじめ、たくさんの方々が、捜索や復旧に献身的に活動している様子や、航空機事故の際、極限状態の中、乗客の避難誘導を行った乗務員、小さい子に道を譲ったり、脱出シユーターで補助をしていた乗客の皆さんの行動が報道され、その行動に尊敬の念を感じたみなさんもいたと思います。

3学期は、1年間のまとめの学期、次の学年や高等学校

■お知らせ
本校は、文部科学省の「リーディングDXスクール事業指定校」となりました。DXはデジタルトランスフォーメーションの略で、デジタル技術で、質的变化を目指すものです。本校は、その取組を全国に発信する学校として指定されました。段階的にDX化を進めてまいります。その取組の一つとして、2月20日(火)第4回保護者参観日の出欠のご返答をGoogleフォームでお願いしております。ご理解とご協力をお願いいたします。なお、参観日の詳しい内容は、1月19日にお配りした「お知らせ」をご覧ください。

への準備の時期であるといわれています。3年生にとって

強の追い込みに入っていると

心から誠実に努力をしてい

2月のおもな行事

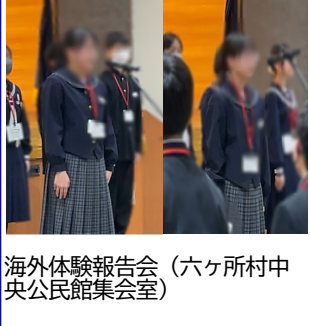
- 2月 1日(木) 平田オリザ氏講演会
- ~2(金) 県立高校願書確認日
- 2月 5日(月) 私立高校受検前日指導
- 2月 6日(火) 私立高校選抜検査日
- 2月 7日(水) 進路活動研究会
- 2月 9日(金) 新入生一日入学
- 2月14日(水) 私立高校合格発表
- 2月15日(木) 学校評議員会
- 2月20日(火) 参観日、PTA総会
- 2月22日(木) 3年期末テスト
大清掃
- 2月29日(木) 村教育委員会後期訪問

1月の大会・検定

- 第40回上北地方中学校室内陸上 1月8日(月) 十和田市総合体育センター
- 【男子】
1500m 3位 中嶋奏輔
立三段跳 3位 浜飯吏琉
- 【女子】
400m 2位 田村涼華
3000m 1位 田村涼華

海外体験報告

六ヶ所村・横浜町中学生海外体験学習が12月23日(土)から30日(土)の日程で実施されました。出発日は朝から降った雪が積もり、スーツケースの移動が大変そうでしたが、帰村日は、晴天に恵まれ、研修生は元気にバスから降りてきました。



海外体験報告会(六ヶ所村中央公民館集会所)

心から誠実に努力をしていれば特別に祈らなくても、神様は守ってくれるだろう、という意味です。

毎日しっかりと続けていけば、その努力はいつか意味をもってくる、そう考えられる言葉とも言えます。どうぞみなさん、短い3学期ですが、密度の濃い学期としてください。(式辞の一部を掲載いたしました。)

海外体験の報告会は、1月27日(土)六ヶ所村中央公民館集会所において行われ、六ヶ所村、横浜町の研修生23名が一人ずつ研修の成果を報告しました。また、本校では、1月31日(水)の生徒朝会において、参加した小泉花恋さん、藤谷しずくさんが、全校生徒の前で、海外体験の様子やアメリカのことについて発表しました。

■小泉花恋(2年)

私が一番楽しかったのは、ホームステイです。ジンジャークレッドハウスを作ったり、教会に行ったり、パーティーをした

た違う取組で面白かったです。アメリカではレジの際に、店員さんが話しかけてくるが多かったです。笑顔で手を振ってくれる人もいました。日本の丁寧な接客とは異なりますが、とても素敵だなと感じました。

後期生徒総会・認証式

1月26日(金)後期生徒会が本校講堂で行われました。

議事では、生徒会活動、生徒会会計中間報告や各学級、委員会、部活動の反省と質疑応答が行われました。今年度は、「百花繚乱」可能性のつぼみから「個性の花へ」のスローガンのもと、「自己管理ができる中学生」「自主的に行動できる中学生」「継続力がある中学生」を生徒会活動重点項目として活動をしていきました。このうち、「自主的に行動できる中学生」では、「行事などで指示を待たずに行動できる人が多く、助け合いの心が生まれ『あたたかい学校』に近づいた」と発表されました。

生徒総会後に行われた生徒会役員認証式では、一人一人に認証書が手渡されました。新役員挨拶は次のとおりです。

川村莉空さん：3年生の姿からいろいろなことを学んできました。学んだことを生かしていきますのでよろしくお願いたします。

小泉ひなたさん：執行部において、上手くいったこと、失敗したこと、先輩から学んだことなどがたくさんあります。それを生かして新しいメンバーとともに楽しい学校を作りたいと思います。

三浦心春さん：今年度はたくさん失敗しましたが、その分たくさん学ぶことができました。これから、生徒会に入ってから、本当によかったと思います。一番思い出に残っているのは二中祭の準備です。どうすればみんなが楽しめるか試行錯誤を繰り返して、時間を無駄にしないで、時間を有効に使うように学校生活を進んで取り組みたいと思います。

それらを生かして仲間とともに楽しみながらがんばります。柳田伊吹さん：2年生のみならず毎日元気に学校に来て楽しく過ごせるような学校を目指して、環境づくりや行事活動に進んで取り組みたいと思います。

石岡咲生さん：執行部として、自分の言動に責任をもち、手本になる行動をしていきます。福岡凜さん：みんなに頼ってもらえるような生徒会役員になるために、自分に与えられた仕事を明るく全力でがんばります。

引き続き、この日をもって引退する3年生役員から挨拶がありました。佐藤大斗さん：生徒会に入ってから本当によかったと思います。一番思い出に残っているのは二中祭の準備です。どうすればみんなが楽しめるか試行錯誤を繰り返して、時間を無駄にしないで、時間を有効に使うように学校生活を進んで取り組みたいと思います。

これから新執行部でがんばっていきなさんは、いろいろなことに挑戦して、より良い学校をつくりあげてください。柳田祐月さん：生徒会長になって、忙しいと感じる1年間で、言い換えると、とても充実していたと思います。体育祭、二中祭などで前に出て活動することができて本当によかったです。でも、自分の力ではどうにもならない分、執行部のメンバーや先生方に多くの力を借りてきました。これからは新執行部を中心とした生徒会活動になります。1番大事にしてほしいのは、選挙に立候補した時の初心の気持ちです。生徒会活動とおして、自分ががんばりたいと思うことが見つかりました。ありがとうございます。

新旧生徒会長に聞く

二中学生会について、3年柳田祐月さん、2年川村莉空さんの新旧生徒会長に、聞いてみました。

生徒会役員になろうと思ったきっかけを教えてください。

柳田：1年生の時に、執行部の人たちの活躍をみてからです。二中祭や体育祭の準備が面白くて、それに憧れました。

川村：執行部の方々の行動とかを見てからです。この学校をもっと生き生きとした楽しい学校にしていきたいと思い立候補しました。

実際に経験してどうでしたか。

柳田：想像していた以上に人を動かす、全校を動かすというのは難しいなと思いました。

川村：思っていた以上に計画が細かくて、行事の準備などがすごく忙しく大変、という感じでした。

一番大変だったのは何ですか。

川村：やはり二中祭のショータイムのオーデイションの準備、司会運行の回し方などです。

柳田：僕も特に行事の運営は大変だったし、日常の生徒朝会とかも結構準備をしないとミスが起きたりするので、普段から準備をしていくことが大切だと思いました。

川村さんは柳田さんからのようなことを学びましたか。

川村：行事など先をみて行動することが、とても印象に残っています。

委員になるのと、祐月さんがそのための資料を作ってくれたりして、いつも先のこと

とをみてその前から作ってくれていたの、先をみてやることは大事だと思いました。

柳田：僕たちは1年先輩だから、しっかりと仕事を指示したり、足りないところを補えるようにしていくことを意識しました。

理想としている生徒会長像があったら教えてください。

柳田：上から目線ではなく、自分もしっかりと働き、全員が平等に執行部を運営していくというのが理想かなと思います。

川村：祐月さんがおっしゃっていた平等な立場はもちろん、みんなから頼られる生徒会長が理想です。

これからどんな生徒会にしていきたいと思いませんか。

川村：各委員会に限らず、どんな意見が出てくる生徒会にしていきたいと思っています。

柳田さんから、次の生徒会に受け継いでほしいことがあればお願いします。

柳田：執行部で働いていて、自分から学校を良くしていきたいという気持ちは受け継いでほしい。完全に同じものにする必要はないし、自分の気持ちがあればいいかなと思います。

最後に何かあればどうぞ。

川村：3年生が引退し、最初はバタバタすると思いますが、それをみんなに見せないように、学校全体をまとめられるようにがんばっていきなさいと思います。

柳田：莉空さんを含めて、1年、2年生の執行部員は自分から行動する人が多いので、その気持ちは忘れず、僕たちよりもいい執行部を目指してほしいと思います。

ありがとうございます。

奈良県の観光地は、大きく東大寺や平城宮跡のある「奈良市」、法隆寺のある「斑鳩」、後醍醐天皇の南朝に関係のある「吉野」、そして今回紹介する「飛鳥」に分けることができます。歴史の教科書では、「飛鳥地方(奈良盆地南部)で政治をとった推古天皇の下、おのの聖徳太子(厩戸皇子)と蘇我馬子とが協力し、中国や朝鮮に学びながら、大王(天皇)を中心とする政治のしくみを作ろうとしました。」などの記述がみられます。

飛鳥見学の出発地となるのが、近鉄吉野線飛鳥駅です。この駅の周辺には、レンタルサイクル店が立ち並び、多くの観光客が自転車を利用して散策に出かけます。観光客は、地図を見ながら目的地を目指しますが、意外に高低差があり、登りに苦労している人も多いようです。電動アシスト付自転車は、大人気ですが、この地に来てまずこの地に来てまず

驚くのが、天武・持統天皇陵をはじめとする天皇陵の多さです。しかも、その多くが周りに畑や民家があり、人々の生活の中に溶け込んでいます。また、酒船石や、亀形石造物、鬼の組板、鬼の雪隠をはじめとする不思議な巨石も多く見られます。これも、民家の横であったり、畑の中にあたりしす。ちなみに、雪隠とは、トイレのこと、鬼が旅人を捕まえて

蘇我馬子が創建したと言われる飛鳥寺には、日本最古の仏像、飛鳥大仏が安置されています。境内に郵便ポストがあることが珍しいことから、ちよっとした写真スポットにもなっています。また、近くには、蘇我入鹿の首を舞い、宙まで飛んできています。

宮の複数の宮殿遺構が重なっています。皇極天皇の時代に、ここで中臣鎌足が蘇我入鹿を誅殺しました。



酒船石 山を登った竹やぶの中にある巨石。お酒をしばったともいわれています。



蘇我入鹿の首を舞い、宙まで飛んできています。



飛鳥宮跡 飛鳥時代の複数の宮殿遺構が重なっています。皇極天皇の時代に、ここで中臣鎌足が蘇我入鹿を誅殺しました。



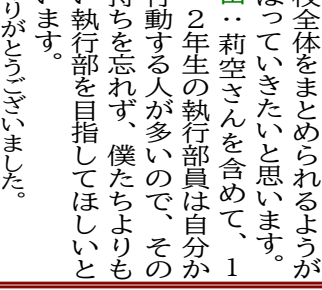
石舞台古墳 蘇我馬子の墓とも言われる日本最大級の横穴式石室を持つ古墳。石の下に入ると見ることが出来ます。



奈良県の歴史的観光地



蘇我馬子の墓とも言われる日本最大級の横穴式石室を持つ古墳。石の下に入ると見ることが出来ます。



蘇我馬子の墓とも言われる日本最大級の横穴式石室を持つ古墳。石の下に入ると見ることが出来ます。

日本の文化財⑩飛鳥